



▲大岳山観音太鼓の皆さんが演奏を披露し、落成を祝いました

地区の発展に大きな一歩

南方で就業改善センター落成を祝う会

岩手・宮城内陸地震災害により、被災した南方就業改善センター（西郷公民館）が3月29日に完成したことを祝い、南方就業改善センター落成を祝う会が4月25日開催されました。落成を祝う会は、西郷地区コミュニティ推進協議会が中心となって行われ、オープニングセレモニーでは、大岳山観音太鼓の迫力ある演奏が披露されました。式では、市長をはじめ来賓から、落成を祝う祝辞が送られたほか、祝いの歌や舞踊などが披露され、参加者全員でセンターの落成を祝いました。

会社運営のノウハウを学ぶ

東和中学校で起業教育講演会

生徒たち自らが会社を設立し、製造、販売などを行う「起業学習」に取り組んでいる東和中学校で5月12日、2年生を対象に学習会が行われ、市東和地区学校支援地域本部の協力により、地元企業の株式会社北上食品工業の飯塚哲朗社長を講師に招いての講演が行われました。講演では、「会社経営とは」と題して自身の体験談を交えながら、会社を立ち上げるにあたって大切なことや、経営の仕組みなどについて説明があり、質疑の時間では、多くの生徒から質問がでるなど、とても有意義な学習会となりました。



▲会社の運営方法や、商品開発のプロセスなどについて学びました

春の訪れを告げる恒例の互市

豊里で春の互市が開催

毎年恒例となっている豊里春互市（登米みなみ商工会青年部主催）が4月24・25日の2日間、豊里町新町の土地改良区前通りにおいて開催されました。午前9時に花火が打ち上げられると、それを合図に各店舗での販売がスタートしました。両日は共に晴天に恵まれ、地元をはじめ市内外から約2,000人ものお客さんが来場し、会場の店舗数は20店と少なめでしたが、至る所でお客さんと店主との会話のやり取りや、子どもたちの声が響き、春の互市はとてにぎわっていました。



▲多くの人々が訪れ、活気ある声やにぎわいを見せる豊里春互市



▲廊下の床や手すりを丁寧にぞうきん掛けする子どもたち

国の重要文化財をきれいに

登米小学校の6年生が清掃活動

市立登米小学校（高橋栄喜校長）の子どもたちが4月26日、国の重要文化財になっている教育資料館（旧登米高等尋常小学校）の清掃活動を行いました。清掃活動に参加したのは6年生45人。バケツで水くみをする係やぞうきん掛けをする係など、それぞれ役割分担を決め、資料館の床や手すりなどを心を込めて掃除しました。登米小学校では、身近にあるこの歴史的建造物を清掃することで、奉仕の心と公共心を育もうと、10年以上も前からこの活動を毎年続けています。



▲各団の代表とともに、参加者全員で綱領を力強く朗読

今年度の活躍を力強く誓う

迫でスポーツ少年団迫支部結団式

市スポーツ少年団迫支部の結団式が5月11日に迫体育館で開催され、19団体から総勢500人が参加しました。結団式には、団員が各団のユニホーム姿で参加し、各団の紹介では、日ごろの活動内容や今シーズンの目標、指導員や親への感謝の言葉を述べました。また、ステージに登壇した5団体の代表とともに、結団式に参加した全団員で日本スポーツ少年団の綱領を元気に力強く朗読しました。会場には各団の指導者や多くの保護者らが来場し、子どもたちの勇姿に拍手を送っていました。

楽しみながらリフレッシュ！

中地でリフレッシュスポーツ教室

宝江ふれあいセンターで5月8日、骨盤のゆがみを改善し、肩こりや腰痛などを解消する「リフレッシュスポーツ教室」（宝江コミュニティ運営協議会主催）が開催されました。教室では、インストラクターの指導を受けながら音楽に合わせて骨盤体操を行い、心地よい汗とともに心身をリフレッシュしていました。参加者は、「普段、体を動かすことが少ないので良い運動になりました。運動後は足腰が軽くなったように思います」と話していました。教室は9月まで、毎月2回の開催を予定しています。



▲音楽に合わせたリフレッシュ体操で、日ごろの疲れもスッキリ